

ひとりでも安心して

～ひとり暮らし高齢者宅の住宅防火診断～

9月19日(金)町女性防火クラブと大垣消防組合中消防署東分署が防火診断のため、町内の75歳以上のひとり暮らし高齢者宅98世帯を訪問しました。

訪問先では、台所での火の取り扱いや消防法で義務付けられた住宅用火災警報器の設置状況などを確認しました。

防火診断を受けた高齢者の方は「数年前からひとりで暮らしていますが、おかげさまで元気に過ごしています。火災警報器や緊急通報装置、寝室の窓の外にはセンサーライトを設置したので安心して暮らしています。」と話されました。



▲ 住宅用火災警報器がしっかり設置されてますね

人権思想を広めて

～人権擁護委員委嘱状伝達式～

10月10日(金)岐阜地方法務局大垣支局で、「人権擁護委員委嘱状伝達式」が行われました。人権擁護委員とは、日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し人権を擁護するために活動している方々のことを言います。

当日は、渡邊登喜子さん(牧在住【新任】)が法務大臣からの委嘱状を受け取られました。渡邊さんは「明るい地域づくりを目指して、互いにひと声でよいので声をかけあい、人権思想を広めつつ、見守っていただけたいと思っています。」と意気込みを語られました。



▲ 委嘱状を手にする渡邊登喜子さん

教育行政の発展のために

～地方教育行政功労者表彰～

10月23日(木)地方教育行政の分野で活躍された個人を顕彰する教育行政功労者表彰を受賞した、西結在住の桑原國廣氏が町役場を訪れ、堀町長に受賞の報告をされました。

氏は平成17年10月から平成25年9月まで町教育委員長に、平成18年3月から平成25年12月まで東安中学校組合教育委員に在職し、その間、町の教育行政の発展に尽力され、教育全般の推進に傾注されてきました。

今回の受賞を受けて氏は「多くの方のご支援により勤めさせていただき感謝しています。今後も一層子どもたちが豊かな心で、たくましく育っていくことを願っています。」と語っていました。



▲ 受賞の報告に訪れた桑原國廣氏

本気で取り組んで

～夢の教室・東安中学校～

10月9日(木)10日(金)の両日、元プロハンドボール選手の榎田亮介さんと元プロサッカー選手の桜井直人さんを講師に招き、東安中学校で『夢の教室』が開催され、同校の2年生103人が夢を持つことの素晴らしさを学びました。

はじめに集団ゲームを通じて、目標を達成するにはみんなの協力が大切であることを学びながら、楽しく講師とふれあいました。その後の夢トークでは、講師が自らの選手人生を紹介し「一生懸命やることはかっこ悪いことではない。今、この瞬間にしかできないことを勇気を出してやってみてほしい」と生徒に熱く語っていました。



▲ 夢トークに心を打たれる生徒たち